

科目名 Course Name	介護総合演習Ⅱ Care Practice Support Ⅱ				ナンバリング No.	J2-011	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と 到達目標	介護総合演習Ⅰの学習内容や実習体験をもとに、利用者および多様な生活や介護の場に対する理解を深める。また、介護過程の第1段階である利用者の情報収集について、その必要性を理解するとともに、具体的な記録方法を学ぶ。 ①多様な生活や介護の場に触れ、利用者を総合的に捉えられるようにする。 ②介護における倫理の重要性を認識し、専門職であることを自覚できるようにする。 ③居宅サービスの種類や形態、訪問時の留意点を説明できるようにする。 ④利用者記録および情報収集用紙を適切に書くことができるようにする。 ⑤実習反省会等を通して自己を振り返り、次段階実習に向けた課題を明確にできるようにする。						
授業の方法	講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク等、多様な授業形態をとる。第14回目の実習記録に関する授業では個別指導も行う。基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰの実習前学内オリエンテーションと反省会は別途実施する。						
学習成果	L01	介護実習および介護福祉士に必要な知識を習得し、次段階実習に臨むことができる。訪問入浴介護のサービス内容や支援のあり方について述べることができる。					
	L02	介護倫理を念頭に置き、倫理的態度で行動することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	実習記録の課題は、添削後、個別に指導しながら返却する。各自の課題達成状況に応じて、個別指導とフィードバックを繰り返す。						
教科書／ 参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 最新・介護福祉士養成講座 第3巻「介護の基本Ⅰ」中央法規出版 介護実習の手引き						
履修上の留意点 やルール等	●冬期の実習に備え、感染対策としてインフルエンザの予防接種を受ける。接種時期や方法等、詳細は授業で説明する。費用は自己負担となる。●実習開始に合わせて、新型コロナウイルス感染防止対策に関する内容を説明する。●教材以外のものは机上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	S 評価は、①使用教材を準備し、必要なことはノートにとっている。②課題や書類の提出期限を守っている。③積極的に参加している。	20					
レポート／作品	【レポート1・3】S 評価は、テーマに沿った学び・気づき等、自分の考えが具体的に記述できていること。		20				
発表							
小テスト							
試験	各種サービスの内容や感染症について出題する。	30					
その他	【レポート2】利用者記録と情報収集用紙を記録する。S 評価は、授業で説明した書き方に沿って適切かつ具体的に記録できていること。	30					
合 計		80	20				

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 基礎実習Ⅰの振り返り(グループワーク)
	事前・事後学習	授業や実習で使用するノートやファイル等を準備する。前期「介護総合演習Ⅰ」の内容を復習する。 基礎実習Ⅰを振り返り、実習体験や学びをクラスメイトと共有する。
2	授業内容	基礎実習Ⅰの振り返り(発表とまとめ)
	事前・事後学習	基礎実習Ⅰを振り返り、自己の改善点を考える。次段階実習に向けて、できることから行動する。
3	授業内容	介護倫理(介護倫理とは、介護福祉士の義務規定および罰則、倫理綱領)
	事前・事後学習	テキスト「介護の基本Ⅰ」P70～72、P120・121、P141を読む。授業の内容をノートに記載する。
4	授業内容	基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰの準備(実習施設、実習先希望調査について説明) 実習先施設の理解(障害福祉サービス、小規模多機能型居宅介護)
	事前・事後学習	学内にある資料やインターネットを活用して実習先を調べる。 テキスト「介護総合演習」P185～196、P161～172、配布資料を読む。障害福祉サービスの区分(介護給付・訓練等給付)、サービス名、主なサービス内容を覚える。
5	授業内容	スーパービジョン、介護事故およびヒヤリハット事例
	事前・事後学習	授業の内容をノートに記載する。配布資料を読み直す。介護事故やヒヤリハット事例をインターネット等で調べてみる。
6	授業内容	居宅サービスおよび居宅介護実習先の理解
	事前・事後学習	授業の内容をノートに記載する。テキスト「介護総合演習」P88・89を読む。訪問入浴見学実習に向けて、質問を考えておく。
7	授業内容	居宅介護実習Ⅰの準備(実習方法と留意点を説明、実習記録一式配布) 【レポート1:訪問入浴見学実習の感想と学び、提出期限は授業で指示する】
	事前・事後学習	学内にある資料やインターネットを活用して実習先を調べる。訪問入浴介護のサービス概要や留意点をノートに記載する。訪問入浴見学実習の感想をまとめる。
8	授業内容	感染対策(予防)の基礎知識
	事前・事後学習	配布資料を読む。授業での内容を整理し、ノートに記載する。基本的な手洗い(正しい手洗いの方法)等、普段から行える感染対策を実行する。
9	授業内容	利用者の情報収集について(情報の必要性とICFの視点からの情報収集)
	事前・事後学習	授業の内容をノートや「介護実習の手引き」に記載する。配布資料を読み直す。「生活歴」「既往歴」「現病歴」の言葉の意味を覚える。
10	授業内容	基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰの準備(実習関連書類の配布・記入)
	事前・事後学習	実習関連書類の作成、提出。基礎実習Ⅱに向けて、様式2「実習に臨んでの課題・抱負」を作成する。実習のスケジュール(流れ)に沿って準備・行動する。
11	授業内容	実習記録①「利用者記録」の書き方、家系図の作成
	事前・事後学習	配布資料を読み直す。家系図を作成する時の約束事と留意点を覚える。自分の家系図を書いてみる。
12	授業内容	実習記録②「情報収集用紙」の書き方 【レポート2:利用者記録と情報収集用紙の記録、提出期限は授業で指示する】
	事前・事後学習	記録の見本をよく読む。介護過程Ⅰ・Ⅱの授業内容と実習記録の書き方を復習する。自分自身を利用者と仮定して利用者記録と情報収集用紙を書き、提出する。
13	授業内容	基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰの準備(検便容器の配布・説明) 居宅介護実習Ⅰ 反省会・まとめ 【レポート3:実習の振り返り(事前に記入し持参)、提出は授業終了時】
	事前・事後学習	居宅介護実習Ⅰを振り返り、反省会用紙を書く。自己評価の項目でよくできなかった点を改善できるよう行動する。

14	授業内容	実習記録③ 利用者記録の書き方(個別指導)
	事前・事後学習	利用者記録と情報収集用紙の書き方を覚える。課題の添削内容をもとに、記録時の留意点をノートや「介護実習の手引き」に記載する。施設介護実習Ⅰに向けて、様式2「実習に臨んでの課題・抱負」を作成する。
15	授業内容	実習記録④ 利用者の特定の仕方、行動計画 基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰの準備(実習記録一式を配布)
	事前・事後学習	実習記録の書き方を復習する。施設介護実習Ⅰの行動計画を立てる。他科目を含め、実習で使用する資料を整理し、準備する。実習のスケジュール(流れ)に沿って準備・行動する。